



Sun GlassFish Portfolio 2009.12

リリースノート



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 821-1395-10
2009年12月

Sun Microsystems, Inc. (以下米国Sun Microsystems社とします)は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品のは、カリフォルニア大学からライセンスされているBerkeley BSDシステムに基づいていることがあります。は、X/Open Company, Ltd.が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sunのロゴマーク、Solarisのロゴマーク、Java CoffeeCupのロゴマーク、docs.sun.com、Javaおよびは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。すべてのSPARCは、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標が付いたは、米国Sun Microsystems社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOKおよびSun™ Graphical Userは、米国Sun Microsystems社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国Sun Microsystems社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国Xerox社の先駆者としての成果を認めるものです。米国Sun Microsystems社は米国Xerox社からXerox Graphical User Interfaceの非独占的ライセンスを取得しており、これは、OPENLOOKのグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国Sun Microsystems社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国Sun Microsystems社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれているは、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段へのは、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としているや、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものへの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

目次

はじめに	5
1 GlassFish Portfolio 2009.12 の概要	9
GlassFish Portfolio 2009.12 に含まれている製品	10
GlassFish Portfolio 2009.12 のライセンス形式	11
プラットフォーム対応とシステム要件	14
GlassFish Portfolio 2009.12 の新機能	14
新製品	14
製品バージョンの更新	14
変更された登録モデル	14
新型ダウンロード式モデル	15
より多くのプラットフォームに対応	15
アクセシビリティ機能	15
GlassFish Portfolio 2009.12 の入手方法とインストール方法	16
既知の問題点と制限事項	16

はじめに

この『リリースノート』のドキュメントには、Sun GlassFish Portfolio 2009.12 ソフトウェアに関する重要な情報が記載されています。インストール、アップグレードおよび操作全般についての理解を深めるために、GlassFish Portfolio 2009.12 ソフトウェアの使用を開始する前にこのドキュメントをお読みください。このドキュメントは新しい問題が発生したときに、それらを説明するために必要に応じて更新されます。

このドキュメントの最新バージョンは、[Sun GlassFish Portfolio 2009.12 ドキュメントセット](#)にあります。

対象読者

この『リリースノート』は、Java 技術の開発者および管理者を対象としています。一般的な Java 技術のエンドユーザーを対象としたものではありません。Java 技術、プログラミング、管理上の概念、およびテクニックを熟知していることを前提としています。

このドキュメントをお読みになる前に

GlassFish Portfolio コンポーネントのインストール、アップグレード、設定を行う前に、『リリースノート』をお読みになって確認しておくことをお勧めします。確認したら、『[Sun GlassFish Portfolio 2009.12 Installation and Upgrade Guide](#)』に進んでください。

関連マニュアル

&ShortNameGFP の追加情報については、[Sun GlassFish Portfolio 2009.12 ドキュメントセット](#)を参照してください。

Java ES プラットフォームの個々のコンポーネントの完全な情報については、[Sun Microsystems ドキュメント](#)のページから入手できるドキュメントを参照してください。

関連するサードパーティー Web サイト

このドキュメント内で参照している第三者の URL は、追加の関連情報を提供しません。

注 - このドキュメント内で引用する第三者の Web サイトの可用性について Sun は責任を負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを通じて利用可能な、コンテンツ、広告、製品、その他の素材について、Sun は推奨しているわけではなく、Sun はいかなる責任も負いません。こうしたサイトやリソース上の、またはこれらを経由して利用可能な、コンテンツ、製品、サービスを利用または信頼したことによって発生した、あるいは発生したと主張されるいかなる損害や損失についても、Sun は一切の責任を負いません。

ドキュメント、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトには、次に示す関連情報が示されています。

- **ドキュメント** (<http://www.sun.com/documentation/>)
- **サポート** (<http://www.sun.com/support/>)
- **トレーニング** (<http://www.sun.com/training/>)

このマニュアルに関するコメント

弊社では、ドキュメントの改善に努め、お客様からのコメントおよびごをお受けしております。ご意見をお寄せいただくには、<http://docs.sun.com> にアクセスして、「Feedback」をクリックしてください。

表記上の規則

次の表は、本書で使用する表記上の規則について説明しています。

表 P-1 表記上の規則

書体	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。 <code>ls -a</code> を使用して、すべてのファイルを表示します。 <code>machine_name% you have mail.</code>
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>machine_name% su</code> <code>Password:</code>
<i>aabbcc123</i>	変数を示します。実際の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。

表 P-1 表記上の規則 (続き)

書体	意味	例
<i>AaBbCc123</i>	書名、新しい用語、強調する語句を示します。	『ユーザーズガイド』の第6章を参照してください。 <i>cache</i> は、ローカルに保存されたコピーです。 ファイルを保存しないでください。 注意: 一部の強調語句は、オンラインでは太字で示されます。

コマンド例のシェルプロンプト

次の表は、C シェル、Bourne シェル、および Korn シェルの、デフォルトの UNIX® システムプロンプトとスーパーユーザーのプロンプトを示しています。

表 P-2 シェルプロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	machine_name%
C シェル (スーパーユーザーの場合)	machine_name#
Bourne シェルおよび Korn シェル	\$
Bourne シェルおよび Korn シェル (スーパーユーザーの場合)	#

GlassFish Portfolio 2009.12 の概要

Sun GlassFish Portfolio 2009.12 は、Sun オープンソース Java™ コンポーネントのセットで、Web アプリケーションとエンタープライズアプリケーションの開発および配備の土台となるものです。ポートフォリオは、Web プラットフォームの重大な側面を入手、管理、および保守するためのコスト効率の高い方法です。

オープンソースコミュニティから入手できるコンポーネントのうち、最も完全なアプリケーションプラットフォームのスタックである GlassFish Portfolio を使用すると、小規模で低価格の配備のほか、大規模で基幹業務の配備を行うことができます。GlassFish Portfolio を構成するコンポーネントは、個別に提供されるほか、各種サポートレベルでも提供されています。組織のニーズにもっとも合ったライセンスの種類を選択できるだけでなく、必要なコンポーネントを選択することもできます。

GlassFish Portfolio は、Sun Java™ Enterprise System 7 (Java ES 7) プラットフォームをベースにしています。こちらは、ソフトウェアからサポート、プロフェッショナルサービス、教育サービスまでを組み合わせる登録制のサービスを総合セットにし、1つのパッケージを単一価格で提供するものです。Java ES 7 のソフトウェアコンポーネントは、相互運用性と信頼性を高めるために厳密に試験されています。

GlassFish Portfolio 配布のコンポーネントセットは、購入した登録ライセンスのレベルに応じて異なります。本製品の最新リスト、および GlassFish Portfolio 2009.12 で使用可能な製品のバージョンについては、[10 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 に含まれている製品」](#)を参照してください。

Java ES 7 ベースに搭載されている製品の最新リストについては、『[Sun Java Enterprise System 7 リリースノート](#)』の「[Java ES 7 Base に搭載されている製品](#)」も参照してください。

このドキュメントの残りの部分では、次の項目について説明します。

- [10 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 に含まれている製品」](#)
- [11 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 のライセンス形式」](#)
- [14 ページの「プラットフォーム対応とシステム要件」](#)
- [14 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 の新機能」](#)

- 16 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 の入手方法とインストール方法」
- 16 ページの「既知の問題点と制限事項」

GlassFish Portfolio 2009.12 に含まれている製品

Sun GlassFish Portfolio 2009.12 には、Web アプリケーションを企業全体に配信するのに必要なミドルウェアサービスとソフトウェアが備わっています。GlassFish Portfolio 2009.12 に搭載されているコンポーネントは、表 1-1 にまとめたとおりです。

表 1-1 GlassFish Portfolio 2009.12 に搭載されている製品

製品	説明
Sun GlassFish Enterprise Server 2.1.1	Enterprise Server は、次世代のアプリケーションとサービスを構築して配備するための、最先端のオープンソースプラットフォームです。GlassFish Enterprise Server の詳細
Sun GlassFish Web Stack 1.5	Web Stack は、Apache HTTP サーバー、MySQL、memcached、PHP および Ruby といった、人気のオープンソースである Web 層のインフラストラクチャー技術を統合したものです。Web Stack の詳細
Sun Java System Web Server 7.0 Update 6	Web Server は、Web のセキュリティーを改善し、エンドユーザーエクスペリエンスを向上させ、さらに Web アプリケーションの配備と管理に掛かるコストを削減してその複雑さを緩和します。Web Server の詳細
Sun Java System Web Proxy Server 4.0.11	Web Proxy Server は、電子商取引ソリューションや企業顧客、またはインターネットサービスプロバイダ (ISP) が使用する Web コンテンツをキャッシュに格納し、フィルタリングします。Web Proxy Server の詳細
Sun Java System Message Queue 4.3	Message Queue により、疎結合したアプリケーション間でメッセージを確実に交換し、コスト効率のよい拡張が可能になります。Message Queue の詳細
Sun GlassFish Web Space Server 10.0 Update 6	Web Space Server は、ユーザーが自分自身の Web スペースを定義できるようにする、新しいクラスのポータルです。Web Space Server の詳細
Sun GlassFish Enterprise Service Bus (ESB) 2.1	ESB は、疎結合したコンポーネント同士が標準ベースのメッセージを介して通信し合えるようにする Java Business Integration (JBI) 規格を組み込んだ、プラグイン可能な統合プラットフォームです。ESB の詳細
HADB 4.4.3-21	アドオン製品の HADB は、Enterprise Server が高可用性のデータ格納として使用するデータベースで、HTTP セッションおよびステートフルセッションの Bean データに使用されます。
Sun GlassFish Enterprise Manager 1.0	アドオン製品の Enterprise Manager は、パフォーマンスの監視とチューニングを行うツール群です。Performance Advisor、Performance Monitor、および SNMP Monitoring があります。Enterprise Manager の詳細

GlassFish Portfolio 2009.12 のライセンス形式

GlassFish Portfolio 2009.12 ソフトウェアは、サーバー単位または無制限の 2 種類のライセンス形式で提供されます。

- 「サーバー単位の登録」とは、GlassFish Portfolio ソフトウェアコンポーネントの配備先となる物理サーバー数または仮想サーバー数に応じた年間登録です。
- 「無制限登録」とは、企業の従業員数に応じた年間登録です。

サーバー単位の提供物には、*Basic*、*Silver*、および *Gold* があります。無制限の登録では、*Gold* と *Platinum* のレベルが提供されます。これらの登録レベルの詳細は、表 1-2 のとおりです。

表 1-2 GlassFish Portfolio の登録レベルの提供物

レベル	説明
Basic	Sun GlassFish Enterprise Server、および Sun GlassFish Web Stack をサーバー単位ベースで搭載します。
Silver	Basic のコンポーネントに加え、Sun Web Server、Sun Java System Message Queue、および Sun Web Proxy Server をサーバー単位ベースで搭載します。
Gold	Basic および Silver のコンポーネントに加え、HADB を搭載します。Performance Advisor、Performance Monitor、および SNMP Monitoring といった Enterprise Manager のコンポーネントも搭載されます。すべてのコンポーネントは、サーバー単位ベースで搭載されます。
Gold Unlimited	すべての Gold コンポーネントに加え、Sun GlassFish Web Space Server および Sun GlassFish Enterprise Server Bus が無制限ベースで搭載されます。
Platinum Unlimited	すべての Gold Unlimited のコンポーネントに加え、Sun GlassFish Web Space Server、および Sun GlassFish Enterprise Server Bus が搭載されます。さらに、アカウント管理も搭載されます。すべてのコンポーネントは、無制限ベースで搭載されます。

Sun GlassFish Portfolio の各提供物に搭載されるコンポーネントは、表 1-3 のとおりです。各コンポーネントのドキュメントのリンク先も記載しています。

表 1-3 Sun GlassFish Portfolio の提供物とドキュメント

コンポーネント	基本	Silver	Gold、Gold Unlimited	Platinum Unlimited	マニュアル
Sun GlassFish Enterprise Server 2.1.1	含まれている	含まれている	含まれている	含まれている	GlassFish 2.1 ドキュメントセット 『Sun GlassFish Enterprise Server v2.1.1 リリースノート』の「ハードウェアとソフトウェアの要件」
Sun GlassFish Web Stack 1.5	含まれている	含まれている	含まれている	含まれている	リリースノート
Sun Web Server 7.0 U6		含まれている	含まれている	含まれている	Web Server ドキュメントセット 『Sun Java System Web Server 7.0 Update 6 リリースノート』の「サポートされるプラットフォーム」
Sun Web Proxy Server 4.0.11		含まれている	含まれている	含まれている	Web Proxy Server ドキュメントセット 『Sun Java System Web Proxy Server 4.0.11 リリースノート』の「プラットフォームの概要」
Sun Message Queue 4.3		含まれている	含まれている	含まれている	Message Queue ドキュメントセット 『Sun Java System Message Queue 4.3 Release Notes』の「Message Queue 4.3 Supported Platforms and Components」
Sun GlassFish Web Space Server 10.0 U6			Gold Unlimited にのみ含まれている	含まれている	Web Space Server ドキュメントセット 『Sun GlassFish Web Space Server 10.0 Installation Guide』の「Software and Hardware Requirements」
Sun GlassFish Enterprise Service Bus (ESB) 2.1			Gold Unlimited にのみ含まれている	含まれている	ESB ドキュメントセット

表 1-3 Sun GlassFish Portfolio の提供物とドキュメント (続き)

コンポーネント	基本	Silver	Gold、Gold Unlimited	Platinum Unlimited	マニュアル
Sun GlassFish HADB 4.4.3-21			含まれている	含まれている	『Sun GlassFish Enterprise Server v2.1.1 リリースノート』の「HADBの要件とサポートされているプラットフォーム」
Enterprise Manager 1.0 <ul style="list-style-type: none"> ■ Performance Advisor ■ Performance & Monitor ■ SNMP Monitoring 			含まれている	含まれている	GlassFish 2.1 ドキュメントセット <ul style="list-style-type: none"> ■ 『Sun GlassFish Enterprise Manager Performance Advisor 1.0 リリースノート』の「システム要件」 ■ 『Sun GlassFish Enterprise Manager Performance Monitor 1.0 リリースノート』の「プラットフォーム要件」 ■ 『Sun GlassFish Enterprise Manager SNMP Monitoring 1.0 Release Notes』の「System Requirements」
Web Stack Enterprise Manager 1.5 <ul style="list-style-type: none"> ■ 監視 ■ 管理 	含まれている	含まれている	含まれている	含まれている	リリースノート
Sun Continuous Integration Server	1 サーバー、1 ノード	1 サーバー、10 ノード	サーバー単位登録。1 サーバー、25 ノード。無制限登録、使用無制限	無制限登録、使用無制限	Continuous Integration Server

プラットフォーム対応とシステム要件

GlassFish Portfolio 2009.12 のプラットフォームの対応とシステム要件は、Java ES 7 Base と同じです。最新リストについては、[14 ページの「プラットフォーム対応とシステム要件」](#)を参照してください。

特定のプラットフォーム対応は、個々のコンポーネント製品にわたって異なることがあるので、ご注意ください。各コンポーネント製品の製品ドキュメントに一覧表示されているプラットフォーム要件を必ず参照してください。

GlassFish Portfolio 2009.12 の新機能

全体的に、GlassFish Portfolio 2009.02 と比べ、GlassFish Portfolio 2009.12 への更新コンポーネントは、製品バージョンの更新、バグ修正、および登録提供物へのその他の変更から成り立っています。新しい製品は何も追加されていません。

- [14 ページの「新製品」](#)
- [14 ページの「製品バージョンの更新」](#)
- [14 ページの「変更された登録モデル」](#)
- [15 ページの「新型ダウンロード式モデル」](#)
- [15 ページの「より多くのプラットフォームに対応」](#)
- [15 ページの「アクセシビリティ機能」](#)

新製品

更新 GlassFish Portfolio 2009.12 に追加された新製品はありません。

製品バージョンの更新

GlassFish Portfolio 2009.12 には、次のように新しいバージョンの製品が含まれています。

- Sun GlassFish Enterprise Server (2.1 ⇒ 2.1.1)
- Sun OpenSSO Enterprise (8.0 ⇒ 8.0U1P2)
- Sun Java System Web Server (7.0U4 ⇒ 7.0U6)
- Sun Java System Web Proxy Server (4.0.8 ⇒ 4.0.11)
- Sun GlassFish Web Space Server (10.0 ⇒ 10.0U6)
- Sun GlassFish Web Stack (1.5)
- Sun Java System Message Queue (4.3)
- HADB (4.4.3-21)

最新製品のバージョン番号については、[表 1-1](#)を参照してください。

変更された登録モデル

今回の 2009.12 リリースでは、GlassFish Portfolio 登録モデルが多少変更されました。具体的には、サーバー単位の Platinum レベルが削除されました。Platinum Unlimited レベルは、引き続き使用可能です。

最新の GlassFish Portfolio ライセンスオプション一式をまとめた詳細は、11 ページの「GlassFish Portfolio 2009.12 のライセンス形式」を参照してください。

新型ダウンロード式モデル

GlassFish Portfolio 2009.12 は、以前のバージョンよりもダウンロードしやすく、維持しやすくなりました。具体的には、eFulfilment および DigitalRiver から製品を ZIP ファイルでダウンロードする代わりに、個々の製品をダウンロードするためのポイントが用意され、製品のインストールがさらに簡単に、またきめ細かくなりました。

より多くのプラットフォームに対応

GlassFish Portfolio 2009.12 は、VMware vSphere 4 Virtualized Environment の試験を受け、承認されました。

アクセシビリティ機能

大部分の Java ES 7 と GlassFish Portfolio 2009.12 コンポーネントが、広範囲にわたる米国および国際的なアクセシビリティ規格と要件に対応するように設計されました。これらの要件は、さまざまな視覚的または身体的に不自由なユーザーにとって、すべての GlassFish Portfolio 機能の使い勝手のよさと完全なアクセシビリティを保証するために設けられています。

次のようなアクセシビリティ機能が、GlassFish Portfolio 2009.12 ソフトウェアに組み込まれ、試験されました。

- グラフィカルインタフェース要素が、Tab、矢印、Enter キーなどのキーボードで完全に操作できるようになりました。
- フォームのフィールドごとにラベルを貼ったり、各要素に該当タイトルや非表示テキスト要素を用意するなどのさまざまな手法で、アプリケーションページのすべての埋め込みフォームにおける補助技術の使い勝手が向上しました。
- アイコン、画像、ロゴなどのすべての非テキスト要素に、代替テキスト文字列が用意されました。
- Javascript コードやメニューなどのすべての動的要素、およびマウスを上にしたときに表示される文字列が載っているポップアップメニューに、埋め込みテキスト文字列の識別子が備わり、補助技術で読み取れるようになりました。
- PDF や HTML などのバージョンの製品ドキュメントが、アクセシビリティ規格に準拠して記述されました。
- ほぼすべての GlassFish Portfolio コンポーネント製品は、次のような複数の操作環境で試験されており、各種補助技術で動作するはずです。
 - Mac OS X: Universal Access
 - Solaris and OpenSolaris: Orca
 - Linux: Orca
 - Windows: JAWS、System Access

GlassFish Portfolio 2009.12 の入手方法とインストール方法

GlassFish Portfolio 2009.12 ソフトウェアの入手方法とインストール方法については、『[Sun GlassFish Portfolio 2009.12 Installation and Upgrade Guide](#)』を参照してください。

既知の問題点と制限事項

GlassFish Portfolio 2009.12 における既知の問題点と制限事項は、総じて Java ES7 プラットフォームの既知の問題点と制限事項に直接つながります。最新リストについては、『[Sun Java Enterprise System 7 リリースノート](#)』の第 3 章「[既知の問題点と制限事項](#)」を参照してください。